年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校 令和５年度（１・２学年用）　　教科　社会科　科目　歴史総合

教　科：　社会科　　科　目：　歴史総合　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　B　組

教科担当者：　（A組：竹下・木南）　（B組：竹下）

使用教科書：　（　実教出版　歴史総合　）

教科　社会科　　の目標：

【知識及び技能】	選択・判断の手掛かりとなる歴史的事項や、文化、芸術などに関わる近現代の多様性について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
【思考力、判断力、表現力等】	近現代の諸課題について、歴史的資料を基に多面的・多角的に考察したり、問題解決に向けて公正に判断したり、一地域の史観に偏らない視点を持ちながら構想したことを議論している。
【学びに向かう力、人間性等】	国家社会に生きる市民としての自覚を養い、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の課題を歴史的な視点から理解できるようにする。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
選択・判断の手掛かりとなる歴史的事項や、文化、芸術などに関わる近現代の多様性について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の諸課題について、歴史的資料を基に多面的・多角的に考察したり、問題解決に向けて公正に判断したり、一地域の史観に偏らない視点を持ちながら構想したことを議論している。	国家社会に生きる市民としての自覚を養い、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の課題を歴史的な視点から理解できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	単元名　近代化と私たち 【知識及び技能】 青年期の課題や先哲の思想や宗教、世界の思想家の思想内容が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の課題や、先哲の思想や宗教等がが自分自身の生き方に与える影響を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追及できる。	１章　近代化への胎動 １　17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ２章　欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 １　イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ２　フランス革命とウィーン体制 ・一人一台端末を使用した調べ学習、レポートの作成	【知識・技能】 近現代の世界史と日本史に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	36
	定期考査			○	○		1
２学期	単元名　国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 市場経済や政府の役割等について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の資本主義経済の利点と欠点を具体例をもとに考察し、レポート等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 市場機構だけでは解決できない課題等の具体例を指摘し、解決策を探究できている。	３章　欧米諸国と日本の国民国家形成 １　イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ２　明治政府の諸改革 ４章　帝国主義の時代 １　日清戦争・日露戦争とナショナリズム ２　第一次世界大戦 ・一人一台端末を使用した調べ学習、レポートの作成	【知識・技能】 近現代の世界史と日本史に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	39
	定期考査			○	○		1
３学期	単元名　グローバル化と私たち 【知識及び技能】 国際社会にの動向と日本の役割について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の現状と課題について考察し、レポート等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の平和と安全を維持するために何が有効なのか主体的に探究しようとしている。	６章　経済危機と第二次世界大戦 １　ファシズムの時代 ２　第二次世界大戦 ７章　冷戦と脱植民地化 １　米ソ両陣営の動揺 ２　地域紛争と対立 ・一人一台端末を使用した調べ学習、レポートの作成	【知識・技能】 近現代の世界史と日本史に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
							合計 108